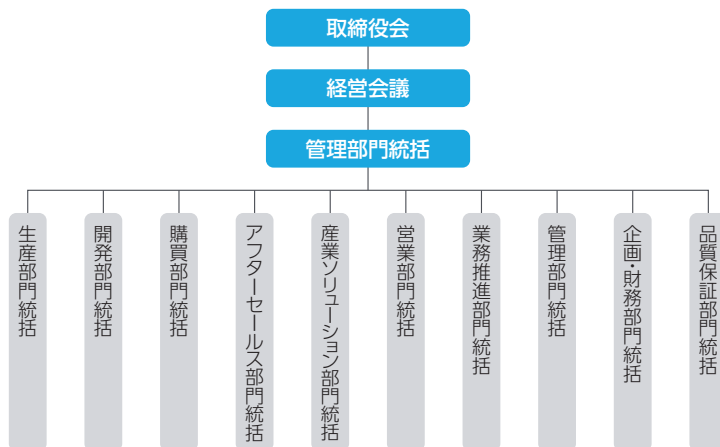


基本的な考え方

いすゞは、「リスク管理規定」に従い、各部門のリスク管理責任者が当該部門リスク管理を行い、リスク管理統括責任者が全社リスクを統括する体制としています。リスク管理状況については、経営会議にて随時把握・評価しているほか、危機に際しては、経営会議にてその対応(体制を含む)を審議・決定・実施し、適宜取締役会に報告することにより、リスク管理を徹底しています。

◆管理体制



BCPの取り組み

いすゞにおけるBCPの目的

いすゞは、企業としての責務(社会的責任)を強く認識し、大規模な災害が発生して困難な状況にあっても、商品供給・サービス提供の早期復旧を図り、ステークホルダーの利益を守っていくために、BCP(全社の基本計画書と各部署の行動計画書)を策定し、その計画を実施・維持・管理しています。

BCPの基本方針

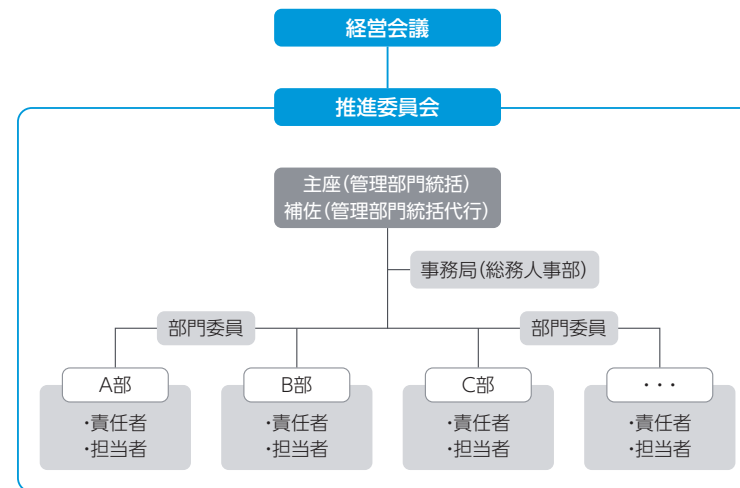
事業継続の基本方針

- (1) 役員、従業員及びその家族の安全を確保する。
- (2) 施設、機材などの安全に努め、二次災害を防止する。
- (3) 顧客・取引先への影響を最小限に止める。
- (4) 業務の早期復旧と継続を図る。

BCPの発動対象とするリスク

いすゞでは、長期間にわたる操業中断・停止をもたらす可能性がある重要リスクを、BCPの策定対象としています。

◆平時のBCP推進体制



訓練について

実効性を確保するために、いすゞは定期的に訓練を行っています。各拠点では防災訓練を実施するほか、大規模災害発生直後に対策本部を立ち上げて、従業員の安否や各拠点の被害状況などの情報収集を行う、初動対応訓練を実施しています。この訓練は、本社と各工場で一斉に行います。模擬の訓練シナリオをもとに、各種の被災情報を参加者が収集し、対応を検討することで、参加者の対応力向上を図っています。また、本社と各工場を通信機器で結び、拠点間の連携を確認しています。



3拠点間で連携し、災害対策本部活動を実施